（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　心

作成日：　平成　27　年　3月　30 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	日々の関わりの中から、ご本人の気持ち・要望を引き出すように努めている。しかし、失語等の症状が進んでいく事により、言葉・単語から思い・意味を推測し、感じ取ろうとする姿勢が必要であるが、十分できていない現状がある。	職員個々がご本人の言葉・単語・表情から、その人の気持ちを感じ取ろうとする姿勢を身につけていく。	1. 日々のカンファレンスの中で、ご本人の言葉・様子について、その気持ちを推測し考えていく視点をもっていく。 2. ご本人がされる行動について、生活歴等の情報から導き出してその意味について考えていく。3. 思いをくみとりケアをしていくための具体的な取り組み方法を考えていく。	12ヶ月
2	49	理念にもある住み慣れた地域にとけこんで生活していくという事で、地域の方にきて頂き交流等行っているが、こちらから積極的に外出支援等で地域にでていく機会が少ない。	地域とのつながりを大事にし、積極的に社会参加できるような機会を増やしながら、地域の方にも認知症という病気について正しく知って頂く機会作りにつなげていく。	ご本人の思い・要望にそった外出支援を行う時に、職員が認知症の方に尊厳をもって接しているという姿勢を、地域の方に見て知って頂きたいという事を意識して積極的に行っていく。	12ヶ月
3	10	ご家族の方との関係作りについて日々の小さな事でも連絡するように努めているが、十分にご家族の方から意見・要望等を頂く工夫や機会作りができていない。	ご家族の方とご本人のケアの方向性・思いについて、ご意見等頂きながら、共に支えていける関係作りを行っていく。	面会にこられた時等、ご家族の方に実際に生活している様子を見て頂き知って頂く事で、ご意見・ご要望が会話の中で自然と言って頂けるような機会作りを行い、ケアに反映させていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。